

地域福祉に関するボランティア（団体）アンケート集計表

対象者	調査時期	配布・回収方法	通知数	回収数	回収率
本会登録ボランティア団体	令和3年12月	郵送による発送・回収	45 通	33 通	73.3%

問1 貴団体の活動内容を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
福祉に関すること（児童・母子福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、その他社会福祉など）	28	85%
健康に関すること（健康づくり、医療づくり）	11	33%
防犯・防災に関すること（交通安全・防犯、防災、消費者問題など）	2	6%
環境保全に関すること（自然環境保護、清掃・美化、公害防止、リサイクルなど）	4	12%
教育に関すること（教育、生涯学習、文化・芸術の振興スポーツ、人権、青少年の育成など）	12	36%
まちづくりに関すること（産業振興、都市づくりなど）	2	6%
その他 （ほほえみの郷でのお手伝い。）	2	6%
無回答	28	85%

サンプル数=33

問2 貴団体の活動圏域を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
下戸田地区（喜沢、喜沢南、中町、下戸田、下前、川岸1～2丁目）	13	39%
上戸田地区（本町、南町、戸田公園、川岸3丁目、上戸田、大字上戸田）	13	39%
新曽地区（大字新曽、新曽南、氷川町、大字下笹目）	6	18%
笹目地区（笹目北町、笹目南町、早瀬、笹目）	3	9%
美女木地区（美女木、美女木東、美女木北）	3	9%
市内全域	12	36%
その他（川口市、さいたま市、羽生市、白河市、近隣市）	2	6%
無回答	0	0%

サンプル数=33

問3 貴団体の活動の目的・意義は何ですか（自由記述）

- ・高齢者の方々との交流、ふだん練習した歌を楽しんで頂けたらと思います。
- ・一期一会の精神とふれあいを大切に、会員各自のボランティア活動を通じて明るい地域社会と福祉の向上に寄与する。（会員規約より）会員が健康で明るく楽しい生活になるように。
- ・視覚障害のある方と走ること。
- ・住み慣れた戸田の街でいきいきと生きる。
- ・高齢者に絵本や紙芝居を読み聞かせすることで、情操を豊かにし、想像力を育む手助けをした。心がおだやかになる暖かい時間が提供できればなお良い。
- ・子育て広場の開催や子育て支援イベントのお手伝いをしながら地域の子育て中の方に寄り添い、応援していきたいと思っています。
- ・高齢者に音楽を届け元気をだしてもらおう。今はコロナで無理があるのか？
- ・高齢者福祉・協力
- ・手芸の好きな会員が親睦を図りながら、手作り品を作成し、寄付や販売をし、売上金を社協に寄付している。
- ・福祉の杜にて、集団リハビリ体操のお手伝い、その他、美容学習でのお手伝い。
- ・心よい昔の歌をハーモニカにのせて聞いてもらう。
- ・高齢者障害者の方々と一緒に同じスポーツを通し支え合い、生き生きと明るく過ごせる時間が持たたい、少しでも楽しみたいからです。
- ・老人ホーム内の植木の手入れ、施設玄関の生け花を活ける、バザーでの手伝い等を通して、入居者、来訪者の方々に喜んで頂き、メンバーとの交流も楽しみです。
- ・外国から来た子供たちの為の日本語支援と学習支援。進学、進路を考え、日本の環境に慣れていくことを目的としています。
- ・戸田のすべての子ども達に自由にいきいきのびのびと外で遊んで欲しいことを願って活動しております。
- ・戸田ユニークダンス（車いす）を通して障がいのある人ない人がともに楽しみ明るい地域社会をつくることを目的としています。
- ・絵手紙を通してのふれあいボランティアの活動で、地域福祉の向上に寄与することを目的としています。
- ・戸田市ボランティア市民活動支援センター「TOMATO」のイメージキャラクター「トマピー」の着ぐるみとともに、各種イベントに参加し、TOMATOのPR・市民活動の活性化に寄与することを目的にしています。
- ・戸田の歴史を知ることを通して戸田を知り、年齢を問わずにコミュニティづくりと生涯学習を目指す。
- ・むかし話を通しての仲間づくり。デイサービス施設などへ訪問して、自分達と施設利用者を元気にする。
- ・高齢者、子育て世代及び障害者等へのボランティア活動を通して地域に貢献する
- ・高齢者、障害者、福祉等へのボランティア活動を行う事により、健全な社会の育成に寄与する。
- ・高齢者等へのボランティア活動を通して、地域社会のQOL向上に貢献する事。

- ・美容ボランティア、フットケア、足育、靴育、子どもから高齢者まで幅広くＱＯＬの向上を目指して。
- ・障害者と共に又高齢者と共に楽しく、手話ダンス、社交ダンスを踊ること。
- ・会員相互の親睦を通して、各自、福祉に関する自己実現を目指すことを目的とします。各自を拘束しないので、広範囲の社会福祉に自由意思で参加できる（一人で複数の団体の手伝いをしている）
- ・子育ての楽しい、地域みんなで子ども達を見守る安心できるまちづくり
- ・高齢者及び障害者への福祉と会員同士の交流仲間づくり。
- ・高齢者や障害者への手助けによる福祉及び会員同士の健康づくりや仲間づくり
- ・地域福祉及び障害福祉を目的とし、蠟燭の明かりのように少しでも社会の役に立ちたいを目的とする。

問4 貴団体の活動メンバーが、ボランティアを続けている理由として聞かれることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
他人や社会のために役に立ちたいから	24	73%
自分の技能や能力、経験を活かしたいから	17	52%
余暇を有効に過ごしたいから	9	27%
友人がいるから	11	33%
活動に興味があるから	16	48%
介護予防になるから	7	21%
つながりづくりになるから	10	30%
自分の生きがいのため	19	58%
その他	1	3%
無回答	0	0%

サンプル数=33

問5 貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
メンバーが不足している	14	42%
リーダー（後継者）が育たない	7	21%
市民に情報発信する場や機会が乏しい	6	18%
支援を必要とする人の情報が得にくい	4	12%
他の団体と交流する機会が乏しい	3	9%
活動の場所（拠点）の確保が難しい	4	12%
活動資金が足りない	4	12%
その他	7	21%
特に困ったことはない	10	30%
無回答	0	0%

サンプル数=33

（その他）

- ・メンバーが高齢になってきた。
- ・コロナの為、活動が制限されている（2）
- ・多くの人が読むのは「広報戸田市」だと思うが、このごろ「お知らせ」欄で市民活動のお知らせはないようだし、載るとしても特定の団体で極めて制約が大きいようだ。
- ・コロナ終息待ち。
- ・新規入会者の減少。

問6 貴団体の活動資金や運営資金等の収入源は以下のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
会費収入	23	70%
委託料	0	0%
補助金	1	3%
委託料以外の事業収入	1	3%
公募による助成金や協賛金	3	9%
寄付金	2	6%
バザー等の売上	5	15%
その他（ ）	6	18%
無回答	2	6%

サンプル数=33

**問7 社協から声かけがあったときに、今の活動以外の分野でも、活動したいですか。
(1つに○)**

	回答	割合
積極的に活動したい	3	9%
活動してみたいと思う	8	24%
活動してみたいが難しい 理由：高齢化、病気のため(9)、子育て中、介護のため(2)、時間的な 余裕が無い(5)、コロナ禍のため困難(2)、人手が不足している	21	64%
無回答	1	3%

サンプル数=33

問8 問7で「1. 積極的に活動したい」、「2. 活動してみたいと思う」と答えた方のみお答えください。どんな活動を始めてみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

	回答	割合
福祉に関すること(児童・母子福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、その他社会福祉など)	8	73%
健康に関すること(健康づくり、医療づくり)	2	18%
防犯・防災に関すること(交通安全・防犯、防災、消費者問題など)	0	0%
環境保全に関すること(自然環境保護、清掃・美化、公害防止、リサイクルなど)	1	9%
教育に関すること(教育、生涯学習、文化・芸術の振興スポーツ、人権、青少年の育成など)	6	55%
まちづくりに関すること(産業振興、都市づくりなど)	1	9%
その他	0	0%
無回答	2	18%

サンプル数=11

**問9 行政や他の組織・団体と現在、連携をしているもしくは将来、連携を強めたい
と思っていますか。また連携することでどのような効果を期待しますか。**

連携意向 (いずれか一つ)	現在	将来
	1. 行っている 2. 行っていない	1. 連携を強めたい 2. 必要性を感じない 3. わからない

問9		回答1	割合	回答2	割合	回答3	割合	無回答	割合
市役所	現在	5	15%	20	61%			8	24%
	将来	9	27%	3	9%	13	39%	8	24%
社協	現在	13	39%	14	42%			6	18%
	将来	13	39%	1	3%	12	36%	7	21%
福祉事業者	現在	12	36%	15	45%			6	18%
	将来	12	36%	2	6%	13	39%	6	18%
保育園	現在	3	9%	22	67%			8	24%
	将来	9	27%	3	9%	13	39%	8	24%
小学校	現在	4	12%	20	61%			9	27%
	将来	7	21%	4	12%	13	39%	9	27%
高校	現在	1	3%	22	67%			10	30%
	将来	5	15%	5	15%	13	39%	10	30%
町会	現在	5	15%	18	55%			10	30%
	将来	8	24%	2	6%	13	39%	10	30%
他の団体	現在	9	27%	15	45%			9	27%
	将来	11	33%	2	6%	11	33%	9	27%
企業	現在	2	6%	22	67%			9	27%
	将来	6	18%	3	9%	15	45%	9	27%

自由記述

市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を見て知ってほしい。 ・再びひろばが開催されたら、親子さんの行き先の一つとしてひろば開催日を告知したい。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・戸田市協働推進課、戸田市多文化共生推進計画への参加 ・子どもはなぜ遊ぶのか、遊ぶのが大切なのはなぜかともに連携していきたい。 ・市役所側が必要としないことを団体がすることにかかわらないと思います。 ・ボランティア活動の実態を把握し、必要な施策を推進してもらいたい。 ・一年に1回出前講座を行っている。
-----	--

社協	<ul style="list-style-type: none"> ・文書手続きだけでなく、時にはボランティア活動を見てください。 ・再びひろばが開催されたら、親子さんの行き先の一つとしてひろば開催日を告知したい。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・彩の国ボランティア事業の実施、体験ボランティアの受け入れ等 ・ボランティアグループに定額経費を配分してもらいたい。（春日部の例） ・ボランティア保険等、お世話になっております。いつもありがとうございます。 ・活動において、わからないことなどを聞くことにしている。
福祉事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設で活動中（喫茶、入居者支援）他のグループと協力中。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・福祉の杜、優和の杜のデイサービスの皆様やグループホーム多居夢の入居の皆様と一緒に描こう、話そう、唄おうの絵手紙交流を行っている（コロナの為現在は中止） ・ボランティアニーズ（特に再開時期）を明示。ボランティアに対するケアを大切に ・高齢者施設慰問・・・スタッフも参加すると高齢者（利用者）は喜ぶのでは。喫茶・・・日々十分連携出来ている。 ・コロナ終息待ち。 ・今ラジオ体操で連携している。
保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・花壇でボランティアメンバー、施設入居者と共に過ごせれば、皆さん喜ばれます。 ・新1年生（幼稚園児）の学校生活、準備指導 ・活動日程等のチラシを置いてほしいです。 ・何かできることがあれば
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・学校より必要とされる（日本語学習）のお子さんの受入指導 ・活動日程等のチラシを置いてほしいです。 ・中学校に対しては手伝いを申し出たことはあるが反応は無かった。学校は多忙です。 ・何かできることがあれば
高校	<ul style="list-style-type: none"> ・広場開催スタッフ、ボランティアとして参加者を募集したい。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・活動日程等のチラシを置いてほしいです。教育志望の学生さんにボランティアとして、遊びに来てほしいです。 ・何かできることがあれば
町会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て中の方へ、ひろば開催日を告知したい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・今年度は少しずつではありますが、連携をとらせて頂いております。活動を市内に広げていくためにも引き続き行いたいです。 ・旧来のやり方があるから、入り込んで何かするのは難しそう。 ・何かできることがあれば
他の団体	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援イベント等で参加協力をとも行っている。今後も引き続き協力したい。 ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・医療並びに健康に関する予防。 ・ラジオ体操においてグループ23と連携している。
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現在中止中、受入団体が断っている。 ・施設バザー時、小学生、中学生の歌、演奏があり、飲料の提供をお願いしたい。 ・戸田中央リハビリテーション病院に絵手紙の展示を行っている。 ・何かできることがあれば

問10 行政や他の組織・団体と連携を強めていく上で、支障となりそうなことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
メンバー・スタッフの協力が得られるか	11	33%
連携したい団体等があるか	5	15%
アプローチ方法がわからない	0	0%
どのような連携ができるか	12	36%
漠然と不安がある	2	6%
特にな	8	24%
その他（手間、面倒、スタッフは日常業務に追われている、政治と宗教）	3	9%
無回答	5	15%

サンプル数=33

問11 ボランティアセンターからの情報提供は十分だと感じますか。（1つに○）

	回答	割合
十分である	12	36%
どちらかといえば十分である	18	55%
あまり十分でない	2	6%
十分でない	1	3%
無回答	0	0%

サンプル数=33

問12 「3. あまり十分でない」、「4. 十分でない」と回答した方のみ、どのような情報提供が必要ですか。（情報提供の方法、情報の内容等）

（１）情報提供の方法

	回答	割合
SNS（Twitter、Facebook、Instagram など）	0	0%
ホームページ	0	0%
メール	1	33%
その他（具体的に：	0	0%
無回答	2	67%

（２）情報の内容

	回答	割合
他団体の活動状況	1	33%
活動の場に関する情報	1	33%
助成金情報	0	0%
その他（具体的に：行政、団体等の情報に偏りすぎてつまらない。）	1	33%
無回答	1	33%

サンプル数=3

問13 ボランティアセンターに求める支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
団体や活動についてのPR	8	24%
活動上必要な情報の提供	14	42%
活動場所の提供	10	30%
会員募集の支援	8	24%
リーダーの養成支援	3	9%
経済的支援	4	12%
他団体とのネットワーク化	5	15%
団体運営上の助言	3	9%
設備・備品の充実	6	18%
成果の発表の場の提供	3	9%
その他（具体的に：グループ交流支援、センターの施策説明ではなく、交流の時間を多くしてほしい。）	1	3%
特になし	5	15%
無回答	4	12%

サンプル数=33

問14 地域や生活の困りごとについて、貴団体が耳にすることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
こども、子育てに関すること	8	24%
障がいに関すること（身体・知的・精神等）	10	30%
高齢、介護に関すること（認知症・見守り等）	18	55%
人権、家庭内暴力に関すること	1	3%
健康、医療に関すること	12	36%
就労、経済的な事項に関すること	2	6%
防災、防犯、交通安全に関すること	8	24%
福祉に関する情報提供に関すること	8	24%
その（具体的に：荒川の氾濫と避難）	1	3%
無回答	4	12%

サンプル数=33

問15 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。（1つに○）

	回答	割合
自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	7	21%
地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい	0	0%
住民と行政の協働で解決したい	23	70%
行政に解決してもらえるように要求したい	1	3%
その他（基本は住民同士で解決、それが困難な時は行政等に。）	1	3%
無回答	1	3%

サンプル数=33

問16 いわゆる「8050 問題※」など、一つの相談支援機関だけでは解決できない人や制度の狭間にある人を支援につなげるためには、どのような仕組みづくりが必要だと思いますか（〇は3つまで）

※8050 問題とは

高齢の親が長期間ひきこもる子どもと一緒に暮らし（80 歳代の親と 50 歳代の子の親）生活面、経済面を含め支援している状態のこと。家族や本人の病気、社会的孤立等、複数の課題が背景にあると言われています。

	回答	割合
地域コミュニティの育成と支援	7	21%
どのような相談もまるごと受け止める体制の整備	17	52%
支援を必要としている人の早期把握	19	58%
福祉に関する相談窓口の周知	9	27%
相談支援機関と地域住民、地域の関係者（民生委員や児童委員等）との連携	10	30%
多様な活動団体、ボランティア等が協働で支援する仕組み	11	33%
相談支援機関や地域福祉活動の担い手を対象とした研修会の開催	2	6%
その他（民生委員や児童指導員等は余り知られていない？個人情報やプライバシーの関係で困難だと思う（2））	2	6%
無回答	3	9%

サンプル数=33

問17 お住いの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、困っている方がいたら、貴団体にできることは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

	回答	割合
見守りや声かけ	21	64%
話し相手	12	36%
日常生活上の手伝い（電球の交換、買い物、ゴミ出し、通院等）	5	15%
草取りや庭の掃除	3	9%
食事作りやおすそわけ	0	0%
学校や保育園、通所施設の送り迎え	0	0%
短時間の子どもの預かり	0	0%
災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）	8	24%
その他（高齢者の組織）	1	3%
特になし	5	15%
無回答	2	6%

サンプル数=33

問18 子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすいまちづくりを推進していくにあたり、行政や社会福祉協議会ではどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

	回答	割合
福祉に対する意識の向上	3	9%
情報発信の工夫	4	12%
地域福祉活動の担い手の確保	11	33%
顔の見える関係づくり	10	30%
地域福祉活動の支援	4	12%
地域の様々な活動主体のネットワークづくり	4	12%
困りごとを抱えた人が適切な支援につながる体制づくり	18	55%
誰もが安心できる環境の充実	7	21%
地域の防災力の強化	6	18%
権利擁護の推進	0	0%
地域生活課題の複合化・複雑化への対応	1	3%
社会的孤立、制度の狭間の問題への対応	8	24%
無回答	2	6%

サンプル数=33

問19 地域福祉推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。

- ・ボランティアセミナー15期、その後ボランティア活動14年、高齢化による病気等ありますが、お互いにはげまし合い、（今は新型コロナウイルスのため活動、集いはできませんが）いきいきタウン戸田（パル）の喫茶1月再開に向けて検討中。またにぎやかないちご会メンバーになります。
- ・知ることとみえる顔のPR。地域住民の理解、知ってもらうことが大切。
- ・お年寄りは智恵や経験を沢山持っておられます。昔のことで時代遅れということもなかにはあるけれど本当は知らないことを知りたいのは若い親たち、こどもも老人のあり方を親を通して身近につながる関係を作っていけるとよいと思います。
- ・強者（富裕層、強健康者、技能者等）の組織化と支援活動への誘引
- ・今回のタテ、ヨコの串を刺す活動は素晴らしいと思います。そこで私のつたない経験ですが、永年バス停や公園を自主的に清掃していて、ふと考えて、なぜそこは汚れるのか考え、バス会社と市役所に聞いてみました。すると各々の場所には清掃する団体や部署があり、その電話一本で見違える程きれいに継続されるようになりました。結果的に維持する部署がサボっていたし、ボランティアが邪魔していたのかも知れませんが、福祉にこのような面がないかチェックする必要を感じました。
- ・みなさんが笑顔で暮らせれば一番いいです。

ご回答ありがとうございました。